

答 申 書

平成28年 3月29日

富良野市長 能 登 芳 昭 様

富良野市地域福祉計画策定市民委員会
会 長 濱 本 渉

第2期富良野市地域福祉計画について（答申）

平成27年6月2日、当策定委員会に諮問されました第2期富良野市地域福祉計画について、慎重に検討・協議の結果、計画策定を終了いたしましたので、意見書を添えてここに答申致します。

なお、本策定委員会における意見を十分に尊重し、計画の的確な推進に努められるよう要望致します。

記

- | | |
|----------------------|--------|
| 1. 第2期富良野市地域福祉計画書（案） | 別冊の通り |
| 2. 意見書 | 別紙のとおり |

意見書

1. 計画の進行管理について

本計画を総合的、円滑に推進していくためには、計画の実施状況等を把握するとともに、計画の効果的な推進に向けた検討を行うなど、計画の進行管理を適切に行う必要があります。

計画にも盛り込みましたが、富良野市地域福祉市民委員会（仮称）を設置して、地域福祉計画の実施状況の報告を行い、幅広い視点から意見をいただきながら、毎年度、計画の進行管理をし、必要に応じ見直しを行う等、市民の声が反映される計画検証の推進を図られたい。

2. みんなで支える福祉事業の基礎づくりの推進について

地域福祉の担い手は、地域で暮らす市民一人ひとりです。地域福祉の現状と課題を地域住民一人ひとりが共有する中で、地域で身近な福祉活動を行う人材を発掘、育成し、地域で支え合う活動に結び付けていくことが重要です。

そのためには、市民の地域福祉やボランティア活動に対する意識の啓発を図るとともに、市民の誰もがボランティアについて、学び体験できる機会の提供を行い、広く市民が地域福祉活動に参加できるよう、積極的な推進を図られたい。

さらに、意欲ある市民が福祉の担い手として活動できるように、養成講座の開催などにより、ボランティアリーダーの育成、発掘にも積極的な推進を図られたい。